



「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクト
タイのタイヤ生産拠点で植樹祭を開催

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は昨年12月5日（金）、タイの乗用車用およびトラック・バス用タイヤ生産拠点であるヨコハマタイヤマニュファクチャリング（タイ）で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの植樹祭を開催した。8月のヨコハマタイヤ・フィリピン INC、11月の杭州横浜輪胎有限公司に次いで海外では3拠点目となる。

植樹祭に向けて宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）、シリム・ゲオライヤット博士（タイ宮内庁勤務／横浜国立大学で博士号取得）の両氏が土地本来の樹種を調査し、昨年8月下旬にその調査に基づく植樹指導を受け、基盤整備や苗木の確保など準備を進めてきた。

当日は環境問題に関心の深いタイ王室の国王誕生日（祝日）にあたり意味深いイベントとなった。参加者は従業員とその家族、地域コミュニティの代表者や地域住民の皆さま、地元小学校の生徒、ヨコハマタイヤマニュファクチャリング（タイ）のあるアマタシティ工業団地の企業の方々など約1,500名にのぼった。同社の水本康博社長やご来賓の挨拶に続き、アノン・チャナモーン博士（タイ天然資源環境省勤務／横浜国立大学で博士号取得）が植樹方法を説明。小学生によるタイ舞踊などが披露された後、参加者はグループごとにおよそ1時間かけて土地本来の樹種であるフタバガキ科の常緑広葉樹を中心に25種、約7,200本を植樹した。

「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトは、横浜ゴム創業100周年の2017年に向けて、およそ10年かけて国内外の生産拠点に杜を創生するプロジェクト。国内7工場、海外グループ会社の11工場で、合計50万本の植樹を計画している。すでに国内は新城工場（2009年5月植樹祭開催予定）を除いた6工場で第一期植樹祭を完了し、合計51,900本を植樹。2009年から第二期植樹祭を開始する。海外拠点は今年4月に米国のヨコハマタイヤコーポレーション、9月にタイのヨコハマラバー（タイランド）カンパニーLTD.で植樹祭を行う予定。



植樹の様子

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株） 広報部
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570